

令和7年度 第1回佐久市地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会 会議概要

日 時	令和7年7月4日（金） 午前10時～12時
場 所	佐久市民創錬センター
出席者	3ページ目に掲載
協議事項	<p>(1) 第3回佐久市地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会の経過確認</p> <p>(2) 前回以降の動向について</p> <p>(3) 今後の取り組み方針（佐久市ロードマップ）について</p> <p>(4) 質疑・意見交換</p>
協議概要	<p>(1) 第3回佐久市地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会の経過確認</p> <p>(2) 前回以降の動向について</p>
事務局	<p>○ 国の動向について</p> <p>国の関係機関である「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」が本年5月に最終報告をまとめた。その主な内容は以下の3点。</p> <p>① 本取組について、学校内での活動を地域全体で支え、新たな価値を創造する意味合いとするため、名称を「地域移行」から「地域展開」へ変更。</p> <p>② 令和8年度から令和13年度を改革推進期間とし、休日の地域展開を完了させる。</p> <p>③ 国は地域クラブを担う運営団体や指導者の体制整備、公的負担の必要性など、8つの個別課題を整理。</p>
長野県	<p>○ 県の取り組みについて</p> <p>部活動地域展開に関する長野県の取り組み状況として、以下7項目について報告がされた。</p> <p>① 地域クラブ指導者養成リーダー出前講座事業 ② アスレティックトレーナー等巡回事業</p> <p>③ 信州地域クラブ活動応援サポーター認証制度 ④ 信州地域クラブ活動要件の策定について</p> <p>⑤ まつチャレフェスタ!!2025について ⑥ 地域貢献活動休暇とボランティア休暇について</p> <p>⑦ ICTを活用した地域クラブ活動について</p> <p>また、県内市町村の地域展開完了の目標年度について、休日・平日別にまとめられ報告がされた。その中で、ほとんどの自治体が、令和8年度末をもって休日部活動の地域展開を目指していること、また、県内中学校の42%に当たる77校は、平日の地域展開も目指している。</p>
事務局	<p>○ 周辺自治体の状況について</p> <p>小諸市、南北佐久、上田市、上小地区市町村の取り組み状況について報告。</p> <p>それぞれ令和8年度末に休日部活動の地域展開を目指す方向。上田市については平日も地域展開する方向。立科町から単独での運営が難しい中で、合同部活ができればありがたいとの意向。</p>
委員	<p>○ 剣道部会での取り組みについて</p> <p>県中体連に対し、地域クラブとして登録申請をし完了となった。その結果、6月の中体連の剣道競技に、団体・個人として6名出場した。</p> <p>また子供たちの活動環境を整える目的で、佐久市のスポーツ少年団へも登録をした。</p>
委員	<p>○ バレーボール部会での取り組みについて</p> <p>7月10日に部会を開催。各学校の顧問に集まっていただき、練習内容や会場、日程調整などを行う。併せて部活動顧問の休日の活動について、地域展開後も指導をしてもらえるのかなど意向調査を実施したい。</p> <p>課題として部活動が休日だけであれば対応できるが、将来的には指導者の有資格者がいるスポーツ少年団との連携を視野に、指導者確保という視点で考えていきたい。</p>
委員	<p>○ ソフトテニスの状況について</p> <p>昨年、合同練習を3回ほど行ったが、本格的にどのようにやっていけるのかについてはまだ決ま</p>

事務局	<p>っていない。お金の面、指導者の面等、課題もあり簡単にはいかないと思っている。 指導者が高齢化し、次の担い手が見つからないことを懸念している。</p> <p>○ 野球の状況について</p> <p>現在佐久市内では、浅間中、東中等単独で大会等に出場できる学校と、合同でチームを組まない と大会等に出場できない学校がある。</p> <p>合同チームが佐久市内で組めればいいのだが、場合によっては佐久地域内の他の市町村の学校と 合同チームを組む、或いは練習をするといったケースも生じている。</p> <p>これがさらに地域移行ということになると、地域クラブの指導者への手当など、自治体ごとに異 なるといったケースが生じるなど、課題がある。</p>
委員	<p>○ バスケットボールの状況について</p> <p>令和9年度から大会の在り方が変更となり、入部時に部活動かクラブチーム登録か選択が必要と なる。クラブやユースではなくバスケットをやりたい子供たちの受け皿が地域クラブとなるの で、指導者等については、連盟において人材バンク登録をお願いしている状況。</p>
事務局	<p>○ 吹奏楽について</p> <p>部活動顧問へヒアリングを行った結果「運営団体はどこが担うか」「指導者の確保をどうする か」「活動場所をどこにするか」「楽器の所有、運搬（特に打楽器）、保管場所をどうするか」 「学校を活動場所にした場合、セキュリティや鍵の管理をどうするか」等が、共通の課題として 挙がっている。</p>
委員	<p>○ 合唱について</p> <p>全国でも県でも、少子化の中でも、合同で活動をしているケースが増えている。 一人だから合唱部はつぶしてしまおうということではなく、地域で歌いたい人を大事にしたい。 佐久地域の子供たちの合唱は素晴らしいと認識しているが、今後いざ地域移行となると、いろい ろ不安や課題があり、今後どうなっていくのか、しっかりと周知をしていってほしい。</p>
事務局	<p><u>(3) 今後の取り組み方針（佐久市ロードマップ）について（別添資料）</u></p> <p>市の取り組み方針を「地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備等」「指導者等の質 の保障・量の確保」「活動場所の確保」「生徒・保護者等の関係者の理解促進」の4点にポイントを 絞り、ロードマップにまとめ説明。</p> <p>また、令和8年度の夏季（中体連大会が終わり3年生が引退をする時期）を目途に、休日の部活 動を廃止。また平日については、休日の地域展開の状況を分析し、可能と判断したものについて地域 展開を進めることについて、事務局より提案を行った。</p>
委員	<p><u>(4) 質疑・意見交換</u></p> <p>○ 中体連大会への出場要件について、一つの地域クラブからは、1チームしか出場できないのか、 複数チームが出場できるのかが曖昧であるので、明確にしてほしい。</p> <p>○ 地域クラブの指導者について、ボランティアではなく有償としないと持続は難しいと考える。</p> <p>○ 休日の活動が地域クラブとなった際の指導方針について、平日の部活動を主とするのか、休日 の地域活動を主とするのか、戸惑いが生じると思うので、そのあたりを明確にしていくべきだと思 う。</p> <p>○ 学校と地域クラブとの連携が十分図れるよう対応してほしい。</p> <p>○ 指導者に何かあった場合の保険対応についても、しっかりとした方針を示してほしい。</p>
会長	<p><u>まとめ</u></p> <p>事務局から提案された今後の方向性（ロードマップ）について、協議会として了承してよいか。</p>
委員	<p>了承</p>

## 出席者（委員19名）

No.	氏名	所属等
1	原 拓男	識見者（アテネオリンピックバスケットボール競技・女子選手団長、元教育長職務代理）
2	宮島 卓朗	佐久市立浅間中学校 教頭（代理出席）
3	畑 邦弘	佐久市立中込中学校 校長
4	芝野 崇	佐久市立東中学校 校長
5	堀籠 英和	佐久市立臼田中学校 校長
6	小山 宏己	佐久市立浅科中学校 校長
7	飯島 廣樹	佐久市立望月中学校 校長
8	伊坂 倉一	（特非） 佐久市スポーツ協会
9	上原 和雄	佐久市スポーツ推進委員 副会長
10	篠原 一郎	（特非）もちづき総合型クラブ 理事長
11	萩原 和章	（特非）もちづき総合型クラブ（学校運動部活動指導士）
12	土屋 岳	岸野スポーツクラブ 会長
13	原 暁生	佐久平バレーボール協会 総務委員長
14	大井 明	佐久バスケットボール協会 副会長
15	沼田 浩人	佐久サッカー協会（（特非）佐久市スポーツ協会 サッカー部 部長）
16	小金澤 茂喜	佐久地区剣道連盟 会長
17	萩原 周子	合唱指導者
18	江本 一弘	佐久市ソフトテニス連盟 理事長
19	出口 哲朗	長野県教育委員会事務局保健厚生課 教育主幹兼学校体育係長

## 事務局（11名）

No.	氏名	所属等
1	神津 長生	佐久市教育長
2	春山 也寸志	社会教育部長
3	平林 照義	学校教育部長
4	小林 司	学校教育課 主幹指導主事
5	井出 浩壮	スポーツ課 課長
6	大島 ゆみ子	スポーツ課 スポーツ推進係 係長
7	佐々木 和弘	スポーツ課 スポーツ推進係
8	日向 雅樹	文化振興課 課長
9	有賀 大祐	文化振興課 文化振興係 係長
10	吉澤 貢	（特非）佐久市スポーツ協会 事務局長
11	井出 雅丈	（特非）佐久市スポーツ協会